

議 会 だ よ り

やまもと

Vol.205

令和6年5月1日発行



春祭り（当護稻荷神社）

第1回臨時会

会期 2月14日

第1回定例会

会期 2月27日

～3月18日

目 次

- 定例会概要……………P2
- 予算審議（修正案、討論、総括質疑）……………P3～7
- 一般質問（質問議員8人）……………P8～17
- その他議案・臨時会……………P18～19

令和6年第1回定例会 一般会計予算 一部減額とする修正案 可決

一般会計予算内訳

【歳入】

【自主財源】

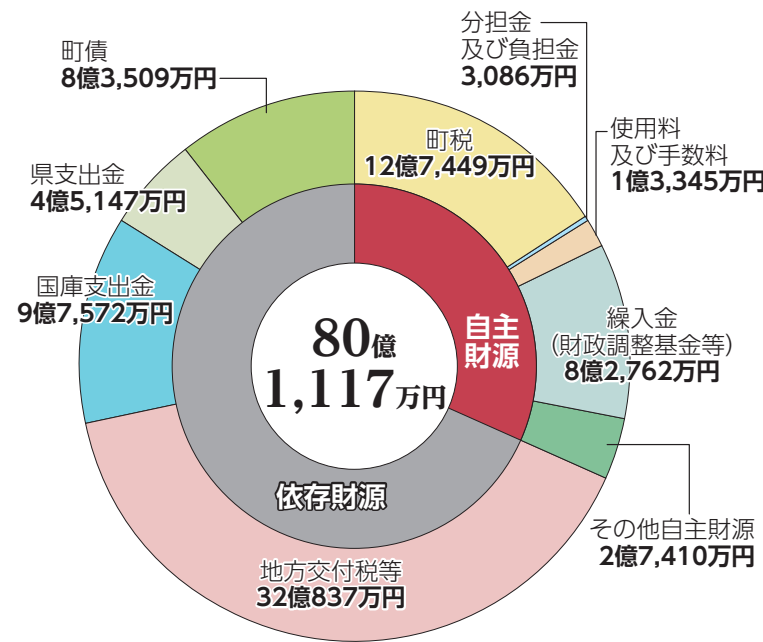
25億4,052万円

町が自主的に確保することができる財源

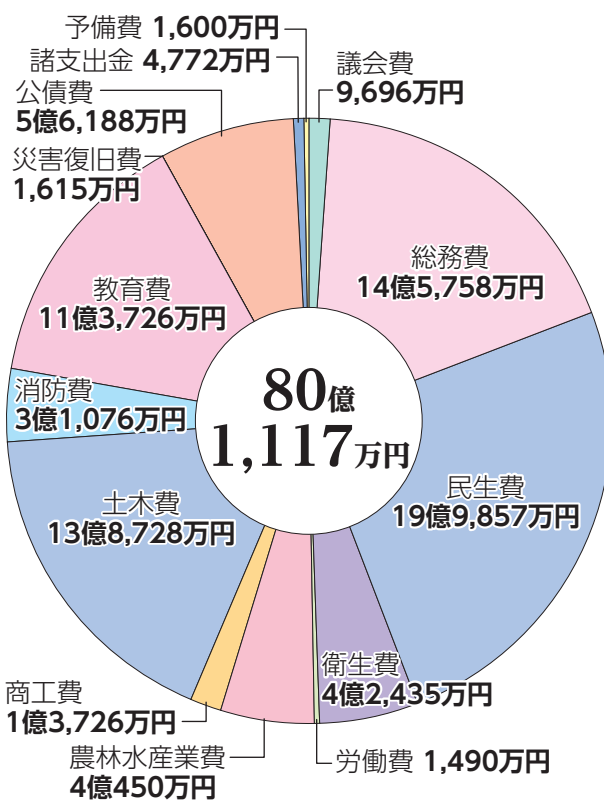
【依存財源】

54億7,065万円

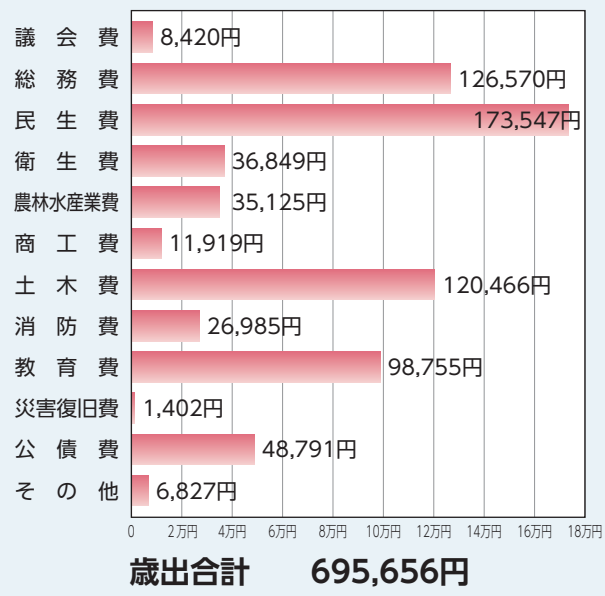
国、県から交付される財源



【歳出】



◎町民一人当たりの支出額
(令和6年3月末日時点総人口 11,516人)



～トイレ建設工事請負費2,700万円減額～

定例会概要

第1回定例会は、2月27日から3月18日(21日間)の日程で開催され、条例7件(新規1件)、当初予算6件、補正予算3件、教育委員の任命同意を含む人事案件2件等23議案を審議しました。一般会計予算案については修正可決、それ以外の議案については原案のとおり可決しました。また、町長に対し、8人の議員が町政全般について一般質問を行いました。

当初予算概要

今回の予算は、人件費や管理経費等の義務的経費の他、町長の公約を実現するための各種事業に係る経費で編成されました。

この中で、一般会計予算は議員2名から修正案が提出され、修正案に対する質疑、討論を行いました。採決の結果、賛成、反対同数となり、「予算審査特別委員会での採決の結果も僅差であり、執行部による事業内容のさらなる検討・説明が必要である。さらに、町民にとって何が最適か、町がこれから今後どのように歩むべきか」との判断の下、議長裁決により修正案を可決しました。

これにより、一般会計予算約80億円のほか、特別・企業会計を合わせた歳入歳出の総額は約131億円となりました。



令和6年度 各種会計予算一覧表

会計名	予算額	前年度比較	
一般会計	80億1,117万円	▲1億9,282万円	97.6%
国民健康保険事業特別会計	17億7,889万円	▲1,856万円	99.0%
後期高齢者医療特別会計	2億2,959万円	2,805万円	113.9%
介護保険事業特別会計	15億1,843万円	▲3,696万円	97.6%
水道事業会計	5億3,850万円	▲1,352万円	97.6%
下水道事業会計	9億9,617万円	▲7,040万円	93.4%

議案第17号

令和6年度山元町一般会計予算

議員は 予算の「ココ」を議論した！

発議者への質疑

問 「大地の塔」にトイレはいらないと言うことか

答 いらないとは言っていない。利用頻度、規模、価格、優先順位等々総合的にみてももう少し検討すべきであると言っているのである。

問 トレーラートイレの耐久性はどれくらいか。10年しか持たないものもあるが。

答 RC構造よりは劣ると思われるが、今は20年くらい持つ。何が何でもトレーラートイレにすべきと提案しているのではない。事前に提案した一つの検討課題である。

問 優先順位とは何か。

答 このトイレの利用頻度は少ないと思われる。各地区から要望されている、東街道の鷺足交差点付近や道路の危険箇所改善、改修等々、住民の安全・安心を最優先すべきではないのかと考える。

問 公共施設にトイレは必要であると考えながら、造るにしても、コスト、規模、時期等々総合的に再検討すべきである。

○予算審査特別委員会審査報告
審査結果 「可決すべきもの」

附帯意見

坂元地区定住推進事業など主要な事務・事業については、予め議会に対して説明し、一定のビジョン・全体像を明らかにし、財政状況など町の現状と行く末を踏まえ、共通理解のもとで推進すること。



○一般会計予算修正案提出

歳入歳出予算の「80億3,817万円」を「80億1,117万円」に改める

発議者：岩佐 哲也 岩佐 秀一

提案理由（要旨）

「大地の塔」敷地内にトイレを建設する必然性については、詳細な根拠が示されず、本事業が町民の理解を得るに十分な検討の結果で提案されたとは言い難い。

これまでの行政運営を踏まえると極めて非常識、不適切な手法であり、町民に対して納得感を与えてきた歴史を大胆に否定するものである。今回の当初予算において、昨年6月補正で減額修正した2,700万円のままで工事費を上程することは、議会軽視と言わざるを得ない。

原案に賛成（トイレ建設費予算に賛成）

丸子 直樹 議員
早急な再建を期待したい！

岩佐 孝子 議員
復興事業として完遂させるべき!!

品堀 栄洋 議員
現状は一刻も早く改善するべき

「大地の塔」へのトイレ設置に関しては、昨年の第2回、第4回定例会にて議論された。第2回定例会では、修正案の理由が補正予算という点と審議不十分という点であったが、今回は当初予算であり、説明及び審議も十分されたと考える。

以前あったトイレは、旧執行部の都合で解体されたと思われる。現在「大地の塔」の環境整備は花釜区が主に行っているが、不自由の音が聞かれる。これは、整備した町の瑕疵とも考えられることから、原案に賛成である。

賛成、反対ではなく、復興できたのは海外・全国各地からの温かい支援を頂けたからである。高齢の方、杖を使う方、車椅子の方など、鎮魂の場として誰でも訪問できる場とし、根拠を残さず、震災復興事業として完遂させるべきである。

慰霊碑建立時に計画どおり遂行し、整備しなかったことが問題である。建設工事費は物価高騰により、住民負担軽減を考えるべきである。費用対効果を考えるのなら10数か所もトイレ設置をしてきたのだからうか。

震災の発生から13年となった3月11日、町の追悼行事が催された「大地の塔」には多くの参列者があった。震災命日だけでなく、訪問者はそれぞれの生活の中で時間を作り、慰霊に来ていただいている。最寄りの公衆トイレまで往復2キロもかかる現状は、一刻も早く改善しなくてはならない。トイレの心配をすることなく、いつでも、いつまでも、思い思いに追悼する時間を過ごしてもらえ、環境を整えるために、原案に賛成する。

高橋眞理子 議員

議長の自由裁量に期待する

原案に賛成の立場で討論を行う。

今回で3回目となる慰霊碑「大地の塔」敷地内にトイレ設置の案件については、今まで2回とも賛成、反対同数であり、2回とも議長裁決で否決されている。その後今まで反対理由に対して、町長はじめ、執行部は説明を尽くし議論を重ねてきた。限られた財源のなかで熟慮し、やりくりしていることなども理解されないのは不可解だ。議長の「現状維持の原則」に束縛されない自由裁量に期待するものだ。

伊藤 貞悦 議員

公の施設に常設トイレは必要不可欠

「大地の塔」は震災で亡くなられた方の慰霊を目的とした「町の震災慰霊碑」であり、常設のトイレは必要不可欠である。

近くにトイレがあるからいらぬとの考えは、施設設置の観点からおかしい。逆に「大地の塔」にトイレは必要なのか問いたい。

今定例会においても疑問点については、町長から真摯な態度で丁寧に説明されている。今後、人件費・材料費の高騰、諸物価の上昇から判断し、早急に整備すべきものと考え、原案に賛成する。

遠藤 龍之 議員

神聖な公共の場に設置は必要

機関決定、意思決定が一部の圧力によって覆される、という異常な議会運営によって否定されている「大地の塔」トイレ設置の問題は、最初にあった反対理由が解決すると、また新たな理由をつけてくるという、反対する理由が一貫していないものである。

被災され、亡くなられた遺族関係者が集まる神聖な公共施設の場合、トイレがないのは問題である。今後議会の正常化と併わせ、トイレ設置は必要、その実現に取り組む立場から賛成である。

修正案に賛成（トイレ建設費予算に反対）

竹内 和彦 議員

なぜ、解体したのか

元々ここには公衆トイレがあった。そしてこの地に慰霊碑があるにもかかわらず、いつの間にか解体撤去された。なぜなのか。そして再びトイレを作ると言う。その経緯経過の説明がない。令和5年6月議会においても、この件は多くの時間を割いて議論し、否決された案件。建設費2700万円は高すぎるとの意見も無視し、今回再び同額の2700万円の予算を計上している。これは議会軽視そのものである。

渡邊千恵美 議員

安心・安全のための排水対策を望む

「大地の塔」の敷地内にトイレが必要であるならば、鎮魂の日には仮設トイレを置く必要があったのではないかと、トイレがあれば本当にありがたいが、当日は、なくても乗り切れた。以前花釜区からトイレ設置の請願が出されたが、他地区やボランティア団体からも様々な要望がある。請願や要望がある度に応じたら、財政は悪化する懸念がある。トイレ設置以上に町民が望むことは、安心・安全のための排水対策である。

大和 晴美 議員

公共施設トイレへ看板による誘導は

トイレが無いことによる不便さと、トイレを造ることによる町の負担をよく考えるべきである。トイレが無いことにに対する対策として、例えば、トイレが設置されている公共施設への看板による誘導など考えられないか。被災地で暮していく者として、これからも持続可能な町をつくっていくために維持管理の問題は避けることができない。以上のことから修正案に賛成する。

齋藤 俊夫 議員

他の課題解決を優先すべき

旧トイレ跡地に住む方への県道改修工事に伴う代替地の提供協力で、既に元々の設置費2400万円に撤去費等を含め3300万円要しており、新たな設置費を加え6千万円にもなる。本案は唐突に浮上し、令和5年6月補正予算で減額修正され、12月議会で花釜区からの請願が不採択にもかかわらず、その2カ月後に新年度予算に再度計上と議会軽視の対応。健全な財政運営が求められる中、滞在時間の少ない「大地の塔」へのトイレ設置は、利用者だけでなく限定的である。



議案第17号 採決表（修正案に賛成）
賛成反対同数のため議長裁決により修正可決

氏名	竹内 和彦	高橋眞理子	遠藤 龍之	丸子 直樹	大和 晴美	渡邊千恵美	伊藤 貞悦	品堀 栄洋	岩佐 秀一	齋藤 俊夫	岩佐 孝子	岩佐 哲也	菊地 康彦
採決結果	○	●	●	●	○	○	●	●	○	○	●	○	—

賛成 ○ 反対 ● 議長 —

特別委員会質疑

○ICT支援

問 ICT支援員の学校への配置が年々減少しているが、これは時代に逆行しているのではないか。

答 5校に2人の配置となるものの、これは国の基準を満たすものである。

○坂元地区定住促進事業

問 子育て世代向けの宅地整備とのことだが、坂元地区の子育ての未来をどのように考えているのか。

答 できるだけ若い世代に移住してもらえような宅地を作るための基礎調査である。今後、議会の意見も踏まえつつ進めて行きたい。

○ふるさと納税

問 先進自治体を参考に、直接町長が「企業版ふるさと納税」を各地にPRに行くことが非常に重要で効果があるのでは。

答 企業立地セミナー等を活用し、努力していきたい。

○職員研修

問 職員研修に対して、消極的と感じられるが、階層別研修、専門研修、メンタル研修や視察も含め積極的に取り組んでいく。

目で見える予算

新規 坂元地区定住促進事業



※元坂元中学校跡地を子育て世帯向け宅地として活用するための測量、設計の実施

2,100万円

新規 小・中学校給食費無償化事業



※町内小・中学校児童生徒の給食費を無償化するもの

4,214万円

町指定文化財「大條家茶室」修復・活用事業



9,213万円

排水対策事業（排水方策検討業務）



3,732万円

総括質疑

高橋 眞理子 議員

公約事業の坂元地区定住促進事業は

【町長】当該事業の推進は大変重要な施策だ

問 元坂元中学校跡地の坂元地区定住促進事業における2100万円については。

答 今後の方策を定める具体的な判断材料として、測量及び概略設計業務に係る経費である。

問 現段階で住宅の他にも、保育所や子育て世帯に魅力ある施設等、全体的構想は。

答 土地の正確な地形や面積、境界を確立させるための測量を行った後、概略設計として道路等の配置や宅地の形状、区画数について等、議会にも示しながら検討をしていく。

問 今年11月供用開始予定、町指定文化財大條家茶室修復活用事業の内容は。

答 来年度はトイレや北側庭園の整備を行い、仙台藩唯一の茶室として、一般公開や本格的な茶会等、交流人口の拡大と賑わいの創出に務める。

問 深山山麓少年の森拡張改修工事と敷地内自然観察路環境整備事業は。

答 令和7年夏のリニューアルオープンに向け、既存管理棟等の改修工事や、登山者の安全を確保する観点から、森林環境整備基金約774万円を整備費として活用する。

岩佐 哲也 議員

今後の財政状況に危機感はあるか

【町長】楽観視は出来ない、危機意識は必要

問 財政健全化に向けての取り組みについて伺う。わが町の現状は年々非常に厳しさを増してきており、真水の基金残高も減少、財政力指数も0.37と年々悪化。平成20年代後半の財政危機状態より悪い数字である。その危機感はあるのか。

あれば、今回の予算編成時にどのような指示をしたのか。歳出削減策、歳入増加策等々及び、仕事のやり方改革等について伺う。

答 歳出予算については、債務負担行為や国の制度改正に基づく経費等も含むことから、私からは特に個別具体の指示はしていない。ゼロベース予算の指示も特にしていない。

税収増加対策には、財政基盤の確保・強化について産業振興や雇用の拡大、移住・定住対策などをはじめ、クラウドファンディングなどの活用を、必要に応じ事業の実施時期や規模を調整し、予算編成をするよう指示した。

財政健全化に向けては、今後危機意識をもって町政のかじ取りを行っていく。

齋藤 俊夫 議員

全体像を明確化した事業推進を

【町長】取りあえず基礎的な調査をする

問 坂元地区定住促進事業は、重要かつ前向きな施策にもかかわらず、全体像が不明瞭で唐突な提案。

他の主要事業と同様に議会に説明をした上で進めるべき。

答 しつかりした計画の元に進めるべきであるが、取りあえず基礎的な調査を進めたい。

問 議会に説明の機会があったにもかかわらず、筋の通らない運びで議会軽視の生煮え予算である。仕切り直しを。

答 先へ進むための最低限の基礎資料という事で理解を。

問 茶室整備は3千万円程度から始まり、今や1億円を超え、さらに南側外構整備が予定されている。

豊臣家由来でないことが判明したにもかかわらず、身の丈以上の整備によつていかほどの利用見込みと地域活性化が期待されるのか。

答 解体保存よりも現状保存の方が安価で、早い段階で交流人口にもかかわるし、ある物を活用して町を発信するための予算化。令和7年度以降の整備は、状況を勘案し負担を抑えたい。利用形態は条例等が定まっていないので答弁を控える。

この予算どうなる!?

遠藤 龍之 議員

予算に町民の声は生かされているか

【町長】安心して生活できる環境を作りたい

問 この間、議会などで取り上げられた町民の声、決算等で指摘された事項などは、新年度予算に生かされているか。

答 緊急通報システム事業を始めとする高齢者見守りサービスの拡充、補聴器購入助成事業の開始、通報システム事業の周知を図るなど、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりに努めたい。

問 会計年度任用職員制度の運用開始から4年を迎え、再度の任用「勤勉手当」の支給、雇用の安定と処遇の改善等、対応が問われている。

それらの対策も含め、予算執行を進めていく上で、現状の正規、非正規職員の割合等、働きやすい職場環境が保障される行政執行体制となっているか。

答 本庁の会計年度任用職員は約100名であり、職員全体の約3割となっている。国の制度に準じて採用し、雇用の安定化、柔軟な働き方、待遇面でのさらなる改善に努めており、正規、非正規職員ともに働きやすい職場環境が保障される行政組織体制になっていると認識している。

一般質問 我が町政を問う

一般質問大綱一覧

- 大和 晴美 議員 P 10
 - ★1 带状疱疹の予防ワクチン接種について
 - ★2 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援について
- 岩佐 哲也 議員 P 11
 - ★1 選挙公約に掲げた諸問題の取り組み状況及び今後の対応について
- 伊藤 貞悦 議員 P 12
 - ★1 町制70周年記念事業及びこれからの「町づくり」について
- 渡邊 千恵美 議員 P 13
 - ★1 排水対策について
- 高橋 眞理子 議員 P 14
 - ★1 自助・共助による防災意識の高い町づくりに向けた町の対応について
- 齋藤 俊夫 議員 P 15
 - ★1 未来に向けた町政運営について
 - ★2 持続可能なまちづくりを見据えた財政運営について
- 岩佐 孝子 議員 P 16
 - ★1 活気あふれた町づくりについて
- 遠藤 龍之 議員 P 17
 - ★1 介護保険事業の取り組みについて
 - 2 老人福祉対策の拡充を
 - ★3 「町民が主人公のまち・山元町」の実現に向けた取り組みについて

※スペースの都合上、質問項目の前に「★」が付いている内容のみ掲載しております。掲載項目以外の内容の詳細は、右のQRコードから録画映像をご覧ください。➡



○一般質問とは

町の行政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をだし、所信の表明を求めるもの。

5歳児健康診査を実施する考えは

町長 国の動向も注視し環境整備をする

問 こども家庭センターの業務集約をどのように進めていくのか。

答 令和6年4月から、こどもセンター内にこども家庭センターを設置する。子育て世帯包括支援センターでの妊娠・出産・子育てに関する相談支援と、子育て定住推進課での児童虐待等の支援を集約し、子どもに関する支援をワンストップで対応する。

問 5歳児健康診査を実施する考えは。

答 国では、社会性発達の評価、発達障害等のスクリーニング、健康増進を目的とした5歳児健康診査の体制整備が検討されている。このことから、国の動向も注視しつつ、子育てしやすい環境整備を研究する。

問 5歳児健康診査を実施する上での課題は。

答 発達に関する専門医の確保が課題と考える。

問 仙台市の「5歳児のびのび発達相談」を

どう考えるか。

答 本町では、1歳6カ月児及び3歳児健康診査に併せてスクリーニングを行い、支援が必要な幼児に対しては、就学までの切れ目のないフォローアップ体制を構築している。本町の取り組み状況を分析するとともに、仙台市

の取り組み内容を確認しながら必要性を判断する。

問 5歳児のいる家庭にチェックシートを配布して、希望する保護者の相談を実施する考えは。

答 仙台市の先行事例も調べ、検討したい。



大和 晴美 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



1歳6カ月健診に集う親子

带状疱疹予防ワクチンの費用助成を

町長 支援ができるか検討している

問 带状疱疹の予防に対する正しい知識の周知は。

答 ホームページや各種施策を講じ、さらなる周知に努める。

問 定期接種を待たずに公費助成を始めた自治体は、なぜ始めたと思うか。

答 ワクチンの有効性が報告されていることや、接種費用が高額であることから認識している。

問 国の動向を注視している間に分かったことは。

答 带状疱疹の発生頻度やワクチン効果の持続性、接種に最適な対象年齢や安全性、費用対効果等、継続して定期接種についての議論が行われている。

問 一生に1回の接種で、発症のリスクから解放され、安心を手に入れられるのでは。

答 接種の支援ができるか検討している。

問 全国の助成が94自治体まで増えている現状を踏まえ、町の見解は。

答 国の動向を注視しつつ、県内の自治体の取り組みを参考に、助成の必要性について調査研究する。

公約は積み残しなく実現できるのか

町長 任期中に実行し実現する

問 就任後、約2年が過ぎようとしているが、住民との公約実現はあまり目立たないがなぜか。

答 町長の考える町政刷新とはどこをどう変えることか。

答 刷新は、町政の進め方や重点事業の優先順位等のことと捉えている。重要なのはそれらを決定するプロセスである。

答 重要な意思決定する際は、情報収集と議会への情報提供に努め、

お互いが納得、相互理解、協力のもとに進めるのが肝要と考えている。

問 公約の、いの一番に挙げたのが排水対策であるが、坂元地区等具体的に取り組む姿勢が見受けられないがなぜか。部分的には対応しているようだが、根本的な解決策にはまだ取り組んでいない。

答 坂元地区では、排水対策ポンプ車両の購入や、横山地区ではサイホン周りの清掃、各

地区の河川しゅんせつ等を行っている。今後、各地区的排水対策問題における諸課題を整理し、豪雨排水対策に万全を期すこととし、住民の不安解消に努める。

問 一極集中からの脱却の取り組みについて、今まで震災復興優先として我慢してきた、丘通りの行政区長が前から要望していた、特に住民の安全・安心に関わる案件、例えば東街道鷲足交差点付近の改良、真庭橋付近ののみ収集所付近等々、危険な個所の改良・改善対策はいつになるのか。優先順位をどのような判断のもと、決めているのか。

答 今回各地を回り、町政懇談会を開催、約

400件のご意見を頂いた。優先順位については理解して欲しい。公約の積み残しは今後順次取り組んでいき、任期中には実現するようにする。

問 財政状況は年々厳しくなってきたが、持続可能なまちづくりの観点から、どのような改善策に取り組んでいるのか。財政力指数も0.37と良くない。基金残高も真水で年々減少している。箱モノは今後10年間くらい造らないぐらいのことを宣言してはどうか。

答 財政健全化は一番に重要と考えている。新たな事業を考える時どこを削り、どこに予算をつけるか、今後、今回の岩沼市の例等を参考に、予算の振り分



岩佐 哲也 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



随時住民が砂利敷き補修

町制施行70周年記念事業の考えは

町長 大々的なイベントは考えていない

問 1955年2月1日、山下・坂元両村が合併し「山元町」が誕生。来年は町制施行70周年を迎えるが、具体的な事業や式典の計画はないのか。

答 式典や事業については10年毎の節目ではなく50年単位、つまり次は100周年記念と考えていた。

問 日本の風習には、70という数字は「古希」、古来まれなりとの意味で重要。そんな意味から町制70周年を

みんなで祝つてもいいと思うが、その気持ちはないか。

答 復興事業が100%、まだ全部終わっていないという現状。大々的にお祝いをということには至っていない。

問 100%でなくても近づきつつある、この70周年を記念して次のステップへ進む好機とし、

答 町民に対して意識の醸成は考えていく。



伊藤 貞悦 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

お祝いも含めやろうとする気持ちにならないか。

答 令和7年2月1日70周年、現状ではまだ考えていないということである。

問 大々的なことをという意味ではなく、町で実施している行事等に町制70周年というネーミングをし、町は70周年という意識の醸成をやらないかということだろうか。

答 町民に対して意識の醸成は考えていく。

問 白石市が同じように70周年を迎えている。市長が記念すべき年を市民と共に祝いし「※シビックプライド」の醸成に繋げると語っている。町民・市民が町や市に対し愛着やプライドを持てるよ

うな、心の醸成をしていくということである。

我が町でも是非町民と共に「70年頑張ってきた、これからも頑張ろう」という前向きな姿勢を、町長自ら訴えるという機会にと考えられないか。

答 1つの事業1つのイベントとして大々的には考えていないが、周知や意識づけの仕方提案として受け取る。

問 町史の再版と震災からの復興過程を文字・映像・記録媒体として、70周年記念事業として残すことは考えられないか。

※シビックプライド
地域や自治体に対する住民の誇りや愛着、地域社会に貢献する意識を指す



復刻再版、震災のまとめを

答 町史1・2巻については電子データ化し、利便性向上の観点から町ホームページ等で閲覧できるよう検討を進める。

また、震災の記録は、残りの事業進捗を見据え、タイミングをみて検討したい。

排水対策が喫緊の課題ではないのか

町長 全体のバランスを見極め取り組む

問 排水対策事業の優先的実施はあるか。

答 山寺川と鷺足川排水路合流部、新井田川、高瀬川、坂元地区排水対策の4カ所を中心に継続的に取り組んできた。今後は地区懇談会での要望内容を精査、諸課題を整理し、町全体の事業バランスを見極めながら図る。

問 まだ整理されておらず、優先順位はつけていないと理解しているのか。

答 大事なことであり、

優先順位はつけている。

問 各地区からはどのような要望があったのか。

答 横山地区、山下地区、上流部の各河川の整備要望がきている。

問 各地区の諸課題に対し、今後の対応と具体的な内容はあるのか。

答 測量調査を行い、進めるにあたり一番いい形の対策にしたい。河川等は、河川の護岸整備という形になる。

問 当初予算で排水対策事業は、3732万

円計上しているが、継続が新規事業費なのか。

答 新たなものや、継続調査の部分もある。調査した中で計画ができれば、次は本予算になり実際に着工という形になる。単年で簡単に終わる事業や、複数年にかかる事業と工事の大きさは様々。

問 山下地区要望の排水対策は、喫緊の課題である。それに対し、区長宛の回答には、「7年度以降、対策を検討し計画的に進めていきたいと考えている。」であった。調整池の回答も同じである。なぜ喫緊の課題であるのに、この回答なのか。

答 全てを一気にはできない。職員数も予算もある。順番を決めて進めているのでご理解

願う。

問 7年度以降と言わず、直ちに県、国、関係機関に伺う等、行動に移すべきではないのか。山下地区も緊急性を伴うが。

答 順位を決めており、6年度ではなく7年度以降になる。

問 町長の回答に「バランスを見極めながら事業を図る。」とあるが、町長の公約、最優先課題は、町民の安全のための豪雨水害対策、抜本的な対策と認識している。町長の公約に変わりはしないか。

答 町民の安心・安全が優先されるのは間違いない。しかし、それだけではなく、やらなければいけないところを少しずつバランスよく並行して進めていく。



渡邊 千恵美 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



早期の公約実現を

問 早急に各地区の諸課題を整理し、継続的に安全・安心な町づく

りに全力で取り組まれることを期待する。

町民の防災意識を高める取り組みを

町長 自助・共助の意識づけを高めていく

問 今年4月から、スマートフォンアプリを導入し災害情報発信等が運用開始予定だが、使い方のサポートは。
答 電話等で問い合わせがあれば、できる限りの対応をする。
問 災害時の臨時災害FMラジオを立ち上げる考えは。
答 現在作成中の地域防災計画にも明記しており、災害時は速やかに開局できるように、専門的知識のある団体等との協定締結を今後進



たかはし まりこ 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

めていく。
問 来年度完成予定の避難道路最後の11本目、町道上平浜原線の760メートル部分だが、国道6号まで延伸の計画は。
答 復興事業との兼ね合いから大きく遅れたが、付近の高低差等があり事業化は困難だ。現場を精査し、少しでも避難路になった対策を講じる。
問 避難道路等に児童たちの作った手書きの看板を設置しては。
答 学習発表会で発表

された素直ないい作品だ。今後検討する。
問 令和5年に県が公表した津波浸水区域内における、町内の避難対象者は約6千人。町内指定避難所の収容人数を超えるが。
答 丘通り行政区集会所や岩機ダイカスト工業(株)、宮城野ゴルフクラブ等民間施設を指定避難所等へ追加検討中である。
問 離乳食等の備蓄は、全自治体の14%のみという調査結果や、避難所での配慮を要するデ

リケートな部分等に向け女性職員の配置を。
答 危機管理班にはいないが、担当課の女性職員を含め幅広い意見を集約し確認していく。
問 避難は住民の意識が主体で、在宅や車中

避難等の分散避難の考え方も増えつつある。避難所と同様に食料物資の支援等のルールづくりが必要だ。
答 行政区や社会福祉協議会等、関係機関の協力を得ながら、対応できるルールをまとめていく。
問 要支援者の個別避難計画や支援方法を確実なものとするため、名簿提供を原則とする条例制定の考えは。
答 名簿が把握できないと民生委員や地域役員が懸念している。
答 現状では条例制定可否の段階ではないが、個人情報保護法等との関連性や条例制定の効果を確認し判断する。
問 災害時の、自助・共助・公助の取り組み強化を図る、実のある

フォーラムの開催を望むがどうか。
答 危機管理アドバイザー等専門家の話や、意見交換等で意識を高めていくことは重要である。

避難所までの距離を知らせる看板



児童たちが作った看板

「津波が来たら今すぐ避難！」を呼びかける看板



海拔を知らせる看板



身の丈に合った財政運営を!!

町長 今後は財政見通しを考慮する

問 新年度予算は、財源確保は二の次、不足分を貯金取崩しと借金で補う危うさを感じるがどうか。
答 将来的に若い方の負担にならないよう、事業計画を作る考えである。

問 回答になっていない。予算規模は、収入に見合った支出を基本としなければ財政が破綻する。公約の財政健全化に沿った規模縮減を。
答 支出に対して収入が少ない分は貯金を活用していく、貯金通帳を見て笑っていることは考えてない。

問 危機感のない予算編成だ。公約の財政健全化と予算編成する者に求められる財政規律保持との関係は。
答 議員の考えと私の考えが違う、認識が違う。

問 新年度予算に占める貯金取り崩し額と、借金を合わせた割合は実に21%。貯金は令和9年度末でほぼ底をつ

き、会計は火の車になりかねない。危機感のある行財政運営を。
答 指摘の通りで、貯金を使い始まったら切りがなくて事業縮小も認識している。来年度以降の予算は、財政見通しを考慮して組む。
問 維持管理費の縮減が求められる中「大地の塔」へのトイレ設置や、茶室、少年の森に加え、要望を踏まえた整備など、トイレ整備に前のめりになっていく場合ではない。

答 トイレに限らず必要と思うものは理解を求めながら進めていく。



さいとう としお 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

未来に向けた町政運営を！

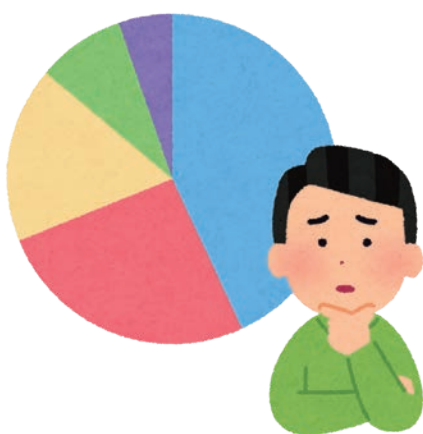
町長 都市計画制度を上手く活用

問 都市計画制度の活用による将来展望を見据え、計画的なまちづくりの推進を。
答 「立地適正化計画」の作成により、町に加え民間も有利な事業展開が可能となる。町が発展する潜在的な可能性を引き出していく。

問 広域連携によるスケールメリットを生かすため、計画が先行している巨理町との学校給食業務の連携実現を。
答 計画に乗り遅れ現状は厳しいが、将来的には学校給食に限らず取り組む。

問 広域連携の延長線上にあるのは市町村合併、人口減少が進む本町の行く末を見据えたとき、巨理町との合併は避けて通れない。
答 問題意識はあるが、現段階で将来的に合併までは考えていない。

問 正副区長に関し、想定外の「パワハラ」が発生している状況に鑑み、委嘱規定に適格要件「品行」を定め再発防止を。
答 区の推薦者を委嘱しており、何か特別な事情がない限り難しく、今後の検討課題である。



子育て環境整備の促進を要望する

町長 元坂元中学校の活用を図りたい

問 今年の元日に能登半島地震は発生した。被災地住民へ正確な地域情報は提供されず、惑いや不安が募っている。情報発信のためラジオ局設置の考えはないか。

答 ラジオの役割は大きいものであるが、FM立ち上げまでは考えていない。

問 高齢化率の高い本町では、スマホなどを使用できない方が多い。ローカル情報を適時・的確に発信するた

め必要である。第三セクター方式は考えられないか。

答 町としては考えていない。専門的知識のある団体と災害協定等を締結するなど、伝達情報手段の多様化を図れるよう努めていく。

問 災害が起きてからでは遅い。平時には地域コミュニティを図る情報発信について考える必要がある。隣接市町村と連携・協力し、県・国に要望していく必要がある。

次に、子育て環境整備を図るための促進について伺う。何度なく一般質問や坂元地区行政区域長から提案・要望されてきた、元坂元中学校跡地利用のた

め測量、設計業務が必要である。計画は校舎、体育館や周辺町有地を含めたものなのか。

答 新たな試みとして、坂元地区内に新たな居住環境に資するための事業である。校舎跡地北側の崖地、高台の体育館跡地、周辺町有地等を含む広範囲での測量である。

問 子育て世帯を意識した事業と捉えて良いのか。

答 そのとおりである。子育て世帯を意識した宅地として業務を進めたい。



岩佐 孝子 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

異常な議会の対応に有線放送設置を

町長 他自治体の動向も踏まえて研究

問 「町民が主人公のまち・山元町」のまちづくりを進めていく上で、町民との間で情報の共有が大事である。その施策の一つとして、以前あった「有線放送」「りんごラジオ」等を再開し、町政、議会の現状、動きなどの情報を町民に提供し、「新たなまちづくり」の実現に生かしてはどうか。

答 「有線放送」の再開は現実的ではない。町広報紙やホームページ、

ジ、SNSなどを活用し、町政、議会の動きなどの情報を町民に提供する。

ラジオについては一定の課題があると思うので、他自治体の動向も踏まえ研究していきたい。

問 なぜ「有線放送」等の設置が必要か、とする提案だが、今、議会の現状は不常態形で動いている。議会、各種委員会での意思決定、機関決定がある一部の力で覆されるとい

う、議会運営上あつてはならないことが続いている。

新聞報道で、委員会での審査では「採択すべきもの」とされたが、本会議では委員会の委員長も「不採択」に回り、採決で賛否同数となり、議長裁決で、住民からの請願は不採択に決まったとする報道があった。これらの背景には、「少数意見の留保」が保障される手続きに不備な点があり、委員長報告が未成立のまま、成立していない委員長報告を本会議で議題としたことが問題であること。



遠藤 龍之 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



こうした問題が広報・広聴常任委員会でも表れている。何のための審査だったのか、議論だったのか、議会そのものが否定されるという異常な事態が続いているが、こうした議会の動き、実態をリアルタイムで町民情報提供し、町と町民が共通認識の下で、実のあるまちづくりの実現を強く求める。

以前あった養護老人ホームの再建を

町長 必要性に応じて判断したい

答 期待を持たせるだけではなく、しっかりと考えた計画を作成したい。

問 保育所再建を先送りしたため、人口が減少した。一日でも早いスケジュールでの実現を望む。



仮設住宅に活用された元坂元中学校跡地（当時）

問 一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる対策の一つとして、生活実態等を確認しながら、以前あった養護老人ホーム「梅香園」などのような施設を再建する考えはないか。

答 高齢化率は42・2%一人暮らしの高齢者世帯の割合は18・6%で老人福祉対策は大変重要な課題と認識。生活実態の把握については、十分な把握に至っていないのが現状であり把握に努める。

養護老人ホームの再建については、その必要性について判断したい。

その他の質問

介護保険事業の取り組みについて

ヘルパー不足で訪問介護を利用できない事態が進行している現状を踏まえ、町での訪問介護の取り組み、課題は。

意見書

○学校給食費無償化を推進するための財政支援を求める意見書（委員会提出議案第1号）
提出者：産建教育常任委員会 委員長 大和 晴美
提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、
文部科学大臣、宮城県知事

提案理由(要旨)

学校給食法第2条で定める学校給食の目標達成に向け、学校では給食を通じた食育が行われており、その意義は大きく、教科学習とともに学校教育の大きな柱となっている。家庭環境による栄養格差改善の面でも、学校給食の果たす役割は大きい。

国際情勢を背景とした物価高騰によって、国民生活が厳しくなっている中、子育て家庭では、多くの教育費を負担しているが、とりわけ学校給食費は大きな負担となっている。

そのため、多くの自治体で無償化に向けた検討が行われている現状において、財政が圧迫されるなどの懸念があり、実施に踏み切れない自治体も少なくない。学校給食費無償化を推進するため、自治体への十分な財政支援を行うよう、強く要望する。



令和6年 第1回臨時会

臨時会概要

2月14日に第1回臨時会が開催され、報告1件、承認1件、議案1件を審議し、原案通り可決しました。

補正予算【議案第1号】

国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく「低所得者支援策」、並びに所得税・住民税に係る「定額減税制度」の概要が示されたことによる経費を計上し、歳入歳出それぞれ4,978万円を追加、総額87億6,436万円となりました。

補正予算

○一般会計補正予算概要

歳入歳出予算ともに、決算見込みに伴う不用額の整理や、国県支出金の実績確定に伴う精算金を中心に計上したほか、地方債の不適な借入に係る繰り上げ償還金が計上されました。

令和5年度 各種会計補正予算一覧表（単位：万円）

会計名	補正額（3月）	合計額
一般会計	△5,276万円	87億1,160万円
国民健康保険事業特別会計	△299万円	17億9,859万円
介護保険事業特別会計	△90万円	16億4,695万円

計画

○議案第5号 山元町高齢者保険福祉計画・第9期介護保険事業計画について

- 基本理念
「誰もが地域で安心して いきいきと暮らせる まちづくり」
- 基本目標
- (1) 高齢者の保険事業と介護予防の一体的な推進
 - (2) 生きがいと自立生活に向けた取組の推進
 - (3) 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組
 - (4) 認知症施策の推進
 - (5) 介護保険サービスの安定供給の推進

条例

○山元町こども家庭センター条例

児童福祉法等の一部を改正する法律により、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し母子健康・児童福祉の一体的な相談支援を行う機関として、こども家庭センターの設置が必要なことから、「山元町こども家庭センター」の設置及び管理に関し、必要な事項を条例で規定するもの。

・施行期日 令和6年4月1日

人事【敬称略】

○教育委員会委員の任命につき同意を
求めることについて
【同意第1号】
おお うち えつ お
大 内 悦 夫
(小平区)を同意

○人権擁護委員の推薦につき意見を
求めることについて
【諮問第1号】
きく た とし ひで
菊 田 敏 秀
(下郷区)を「適任」と答申

○令和6年 第1回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第1号	専決処分の報告について（賠償額の決定及び和解）	報 告
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度山元町一般会計補正予算・専決第2号）	承 認
議案第1号	令和5年度山元町一般会計補正予算（第6号）	可 決

○請願・陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者等の氏名	結 果
陳情第6号	令和6年度山元町補助金要望書	亘理山元商工会 会 長 門澤 俊夫	配 布
陳情第1号	現行の健康保険証の存続を求める意見書提出の為の陳情書	宮城県保険医協会 理事長 井上 博之	配 布

○令和6年 第1回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第2号	山元町手数料条例の一部を改正する条例	可 決 (全会一致)
議案第3号	山元町こども家庭センター条例 【P18に記載】	
議案第4号	山元町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
議案第5号	山元町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画について	
議案第6号	山元町介護保険条例の一部を改正する条例	
議案第7号	山元町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例及び山元町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	
議案第8号	磯浜漁港管理条例の一部を改正する条例	
議案第9号	山元町水道事業給水条例及び山元町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	
議案第10号	令和5年度（債務）山元町深山山麓少年の森拡張・改修工事請負契約の締結について	
議案第11号	公の施設の指定管理者の指定について	
議案第12号	町道の路線廃止について	
議案第13号	町道の路線認定について	
議案第14号	令和5年度山元町一般会計補正予算（第7号） 【P18に記載】	修正可決
議案第15号	令和5年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
議案第16号	令和5年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可 決 (全会一致)
議案第17号	令和6年度山元町一般会計予算 【P3～7に記載】 ※修正案賛成6、反対6同数のため議長裁決により修正案可決	
議案第18号	令和6年度山元町国民健康保険事業特別会計予算	
議案第19号	令和6年度山元町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第20号	令和6年度山元町介護保険事業特別会計予算	同 意
議案第21号	令和6年度山元町水道事業会計予算	
議案第22号	令和6年度山元町下水道事業会計予算	
同意第1号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P18に記載】	適 任
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 【P18に記載】	可 決 (全会一致)
委発第1号	学校給食費無償化を推進するための財政支援を求める意見書 【P19に記載】	

町の仕事をチェック!!

総務民生常任委員会

◇介護保険事業計画
調査内容

第9期介護保険事業計画における各項目の数値目標及び保険料等について調査した。

意見

・安定した運営を図るための税制改正を検討しているが、被保険者の生活実態を見据え、また、物価高騰等の社会情勢を踏まえた改正とすべきである。

・地域の実情に応じた介護サービスを検証するとともに、入所待機者のより正確な実態把握をし、必要とするサービスの提供に努めるべきである。

◇国民健康保険事業
調査内容

国民健康保険事業と税率改正の検討について調査した。

意見

・安定した運営を図るために必要な税率改正については、介護保険料と同様の考えで改正すべきである。

◇公共施設の費用対効果
調査内容

主な施設の利用実態と維持管理費について調査した。

意見

・既存施設の利用状況及び、さらなる維持管理費等の継続調査が必要である。



産建教育常任委員会

◇排水対策について
調査内容

来年度以降の排水対策予定箇所について、現状の問題点と対策方針を調査した。

意見

・土地の宅地化や、田んぼが畑地化していることも影響し、貯留する部分が上流部に無くなり、現在下流部の排水に影響が出ていると考えられる。

各地区の排水計画の策定、下流部の排水機場に早く水を流すための手法の検討、検証を行うべきである。



◇都市計画制度を活用したまちづくりについて
調査内容

町の立地適正化計画について、概要及び今後の予定を調査した。

意見

・本計画は、今後のまちづくりの考え方を定め、防災指針等詳細な分析を必要とする性質のため、策定に時間を要する。

各課の意見を聴取しつつ、利便性の高い地域に自然と人口が集まり、インフラ等の維持管理が容易な都市構造となるように計画するべきである。

議会活動紹介

コンプライアンス研修

1月24日に開催した全員協議会において、オンラインによる「議員のためのコンプライアンス研修」を行いました。

研修の中で、コンプライアンス抵触行為の代表例やコンプライアンスを守るために議員が意識すべきこと、議会としての取り組みなどを学びました。



救急救命講習

12月21日に開催した全員協議会において、心肺蘇生法及びAEDの使用方法について、あぶくま消防本部の職員から講習を受けました。

人形を使いながら実際に体験することで、いざというとき迅速に行動するための心構えと想像以上に体力を使うということを学ぶことができました。



仙南・巨理地方町議会議員研修会

2月3日に仙南巨理地方町議会議員合同研修会が蔵王町で開催され、総務省統計局が作成したポータルサイト「e-Stat」の説明と活用方法についての講義を受けました。

参加した議員からは、統計ツールを活用することで、誰でも国経済・社会の現状が分かり、社会活動の資料が得られ、一般質問や政策形成のバックデータとして使用することができ、活動の幅を広げられるといった感想がありました。

能登半島地震に対する寄付

1月1日に発生した能登半島地震の被害に対して、議員全員から募った寄付金を日本赤十字社を通じて、石川県へ渡しました。

叙勲受章

おめでとうございます

旭日単光章（自治功労）

岩佐 宣久氏（町区）



この度、町議会議員を4期にわたり務められ、地方自治の振興発展のほか、その間のさまざまなご功績が認められ旭日単光章を受章されました。

議会議員在籍期間（16年）

昭和58年5月1日、平成11年4月30日

議員の会議等出欠状況

令和6年1月1日～3月31日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：－

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				竹内和彦	高橋眞理子	遠藤龍之	丸子直樹	大和晴美	渡邊千恵美	伊藤貞悦	品堀栄洋	岩佐秀一	齋藤俊夫	岩佐孝子	岩佐哲也	菊地康彦
1	9	火	産建教育常任委員会	○	○	－	○	○	－	○	－	－	－	－	○	－
	11	木	広報・広聴常任委員会	－	○	－	○	－	－	－	○	○	－	－	○	－
	16	火	県議長会議員講座	－	－	－	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－
	18	木	総務民生常任委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○	○	－	－
	19	金	広報・広聴常任委員会	－	○	－	○	－	－	－	○	○	－	－	○	－
	24	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	月	広報・広聴常任委員会	－	○	－	○	－	－	－	○	○	－	－	○	－
	26	火	広報・広聴常任委員会	－	欠	－	○	－	－	－	○	○	－	－	○	－
2	29	月	仙南・巨理地方町議会議長会 議長会議	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	2	金	仙南・巨理議会議員合同研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	7	水	総務民生常任委員会	－	－	○	－	－	○	－	欠	○	○	○	－	－
	8	木	全員協議会	○	○	○	○	○	公	○	○	○	○	○	○	○
	9	金	巨理名取地区市町議会連絡協議会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○
	13	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	水	第1回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			産建教育常任委員会	○	○	－	○	○	－	○	－	－	－	－	○	－
	20	火	県議長会新議員研修	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	21	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3			県議長会定期総会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	22	木	議会運営委員会	－	－	○	－	○	○	○	－	－	○	－	○	○
			第1回議会定例会（2/27・29・3/4・6・18）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	27	木	産建教育常任委員会	○	○	－	○	○	－	○	－	－	－	－	○	－
			予算審査特別委員会（3/6・7・8・12・13・14）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	4	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	金	総務民生常任委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○	○	－	－
			産建教育常任委員会	○	○	－	○	○	－	○	－	－	－	－	○	－
	21	木	議会運営委員会	－	－	○	－	○	○	○	－	－	○	－	○	○
	22	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	木	広報・広聴常任委員会	－	○	－	○	－	－	－	○	○	－	－	○	－

議長交際費

区分	1月		2月		3月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	5,000	巨理警察官友の会 負担金	23,000	宮城県議会議員との行政懇談会 会費 他2件	5,000	消防団懇談会 会費
慶弔	0		0		0	
その他	0		0		0	
合計	5,000		23,000		5,000	

すきです
Yamamoto



いきいきワクワクできる地域を

東日本大震災により人口が減少したこの町に人を呼びたいと、令和元年7月に友人と設立し、現在は5人で活動している農園です。趣旨に共感した復興ボランティアや地域おこし協力隊などが、ここの立ち上げと運営に大きな力を発揮してくれました。

数年前からは、山元・角田支援学校、仙台市内小学校の生徒と、学生ボランティアとのサツマイモ等栽培の農業体験受け入れに取り組んでいます。子どもたちが作業を通し、作物がどのようにしてできるのかを知り、個性を生かした適材適所な「魅力的な仕事創出」に繋がたいと考えております。

おひさま村農園 代表 鈴木仁一

『おひさま』は温かさを、『村』は様々な人々が集まる場所をイメージし、サツマイモをはじめ、イチジク、ブルーベリー、ユズ等を中心に栽培しています。また、町の宝でもある古民家を、誰もが楽しく集まることができる場「八手庭古民家まるしえ」とし、料理教室、ヨガ、整体、乗馬体験など、人と人をつなぎ、地域活性化を図っています。

これからも、昔からこの地に存在している素晴らしい地域資源を生かし、人を大切に、地域と共にひとつひとつ夢の実現に向けて、いきいきワクワクドキドキ感にあふれる活動を続けています。「ぜひとも遊びに来てみてほしい。」

◆◆お知らせ◆◆

委員長 岩佐 秀一
副委員長 高橋 眞理子
委員 丸高 直樹
委員 品堀 栄洋
委員 岩佐 哲也

議会広報・広聴常任委員会

令和6年 第2回山元町議会定例会 (予定)

会 期：6月6日(木)～13日(木)
開 会：午前10時
本会議：6月6日、10日、11日、13日
(一般質問：6月10日・11日)

お詫びと訂正

議会だよりやまもとVol.204(令和6年2月1日発行)の2ページにおいて、次のとおり誤りがございましたので、訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

【誤】→「物価高等対応重点支援地方創成特別交付金」
【正】→「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」

編集デスク

先日、町内各小中学校で卒業式が挙行され、それぞれ特色のある素晴らしい卒業式でありました。皆さんご卒業おめでとうございます。
3月22日、東京大学でも卒業式があり、総長が次のような話をしました。「深刻な対立が世界の現実として存在する。相手と主張が対立しても、諦めずに対話の場を作り続ける意思を捨てないで下さい」と。将来ある皆さんにはこれからの人生の中でのご参考まで。
我々議会も町民の負託に応えるべく、トコトン話し合いをし、審議を尽くし、町のため、より良い方向に結論を見つけ出していきたいと考えております。

(委員 岩佐 哲也)